

例会場：厚木アーバンホテル

例会日：毎週金曜日 12：30～13：30

事務局：厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2階

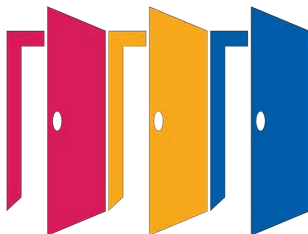
四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

厚木県央ロータリークラブ令報

<http://www.ken-ou-rotary.gr.jp/> e-mail : info@ken-ou-rotary.gr.jp TEL : 046-222-5811 Fax : 046-222-5821



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度R I テーマ 「ロータリーは機会の扉を開く」

2020-21年度厚木県央RC テーマ 「奉仕活動を通して地域社会に貢献する」

会長 高畑幸夫 副会長 神崎 進 幹事 能勢健一

第 1049 回 例会 (2021 年 5 月 21 日)

■点鐘 …高畑幸夫会長

■斉唱 …我等の生業

■会長報告

◎ガバナー事務所 より

- ・職業奉仕月間卓話に関するアンケート依頼
- ・RIバーチャル台北国際大会のプログラムのお知らせ

<GENERAL SESSIONS 本会議>

June 12 - 08：00-09：00

(日本時間6月12日夜10時から11時)

開会式「振り返る機会」

June 13 - 08：00-09：00

(日本時間6月13日夜10時から11時)

「成長する機会」

June 16 - 18：00-19：00

(日本時間6月17日午前8時から9時)

閉会式「奉仕する機会」

<日本語通訳が入る分科会>

1) 12 June, Saturday, 18：00 - 19：00

(日本時間6月13日午前8時から9時)

Rotary's Action Plan for The Future

未来へのロータリー行動計画

2) 14 June, Monday, 08：00 - 09：00

(日本時間6月14日夜10時から11時)

Grow Rotary Through Engagement

参加促進を通じたロータリーの成長

3) 14 June, Monday, 18：00 - 19：00

(日本時間6月15日午前8時から9時)

Donating Money is an Art; Using it is a Science

寄付行為はアート、どう使うかがサイエンス

4) 15 June, Tuesday, 08：00 - 09：00

(日本時間6月15日夜10時から11時)

Protecting the Environment through Rotary Grants

ロータリー補助金を通じた環境の保護

5) 16 June Wednesday, 08：00 - 09：00

(日本時間6月16日夜10時から11時)

Matchmaking： Discovering International

Partners

マッチメイキング：国際パートナーを見つける

<追加>

6) 15 June (20：00-21：30)

(日本時間6月16日午前10時から11時半)

Global Street Food 2 料理教室

7) 15 June (10：00-11：15)

(日本時間6月16日深夜零時から1時15分まで)

The Rotary Foundation Donor Summit

ロータリー財団ドナー・サミット

8) 16 June (09：30-10：30)

(日本時間8月16日夜11時30分から深夜1時30分)

TRF Chair Ravi Ravindran Meet & Greet

財団管理委員長との交流会

<英語での分科会>

9) 16 June Wednesday, 08：00 - 09：00

(日本時間6月16日夜10時から11時)

- ・【オンライン視聴のご案内】日本のロータリー 100周年を祝う会記念式典

2021年5月25日(火)開会13：00閉会16：30

YouTubeオンライン配信視聴URL

<https://youtu.be/n0S389tUijw>

◎国際ロータリー より

・PHF(ポールハリスフェロー)ピンバッジ

◎公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 より

・米山功労者&功労クラブ 感謝状

・ハイライトよねやま VOL. 254

■幹事報告

◎例会変更

・座間RC

5月26日(水)休会

6月2日(水)ハイブリッド例会 点鐘12:30

鈴鹿明神社参集殿

6月9日(水)ハイブリッド例会 点鐘12:30

鈴鹿明神社参集殿

6月11日(金)FZ20前日準備 13:00-21:00

ハーモニーホール座間

6月12日(土)20's Fes ZAMA 8:50-17:00

ハーモニーホール座間

6月16日(水)ハイブリッド例会 点鐘12:30

鈴鹿明神社参集殿

6月26日(土)年度最終例会 点鐘18:00

ご苦労さん会(箱根おかだ)

・大和中RC

5月27日(木)→夜間移動例会中止(まん延防止等重点措置のため)通常例会に変更

6月24日(木)→取止例会

・大和田園RC

5月28日(金)夜間移動例会 → 通常例会に変更

■スマイル

高畑幸夫会長・能勢健一幹事

本日は、会場とZOOMオンラインを併用した、ハイブリッド例会となります。スムーズに進行できるように配慮いたします。奉仕プロジェクト委員会の皆様、よろしくお願ひ致します。

奉仕プロジェクト委員会

松本 豊君・井 寛明君・新川 勉君・和田貴樹君

森 正章君・関野耕正君・関原敏文君・松澤修身君

本日は奉仕プロジェクト委員会、担当例会です。今日は今後のクラブの奉仕事業としてロータリーの「5大奉仕」の1つ、社会奉仕について委員が思いを話します。また、ラオスの補助金事業の完了報告を致します。

村松マユミ君

今日は久しぶりに皆さんにお会い出来てうれしいです。ZOOMもいいけど、やはり会場でお会いできた方が、ほっとしますね。

岡見 健君

皆様こんにちは。ようやくコロナワクチンの接種が始ま

りました。家族3名無事に出来る様に期待しています。皆さんもくれぐれも気を付けて下さい。

守屋孝則君・森 志朗君・神崎 進君・土屋義行君

北村正敏君・伊藤 一君・三竹厚行君・立脇孝二君

武藤元秀君・インド支援金差額

スマイルボックス

■会長タイム



皆様こんにちは。ここ3日間は雨天続きで関東地方も梅雨入りかと思いきや気象庁はなかなか梅雨入り宣言を出しません。沖縄ではゴールデンウィークの5日に梅雨入り九州四国中国地方では今月の15日、関東地方では明日から1週間程度は晴れの予定ですので梅雨入りはまだの様です。全体には例年より20日程度早い梅雨入りとなっているようです。と言う事は梅雨明けも早いと言う事になりますね!

沖縄では今から1か月後関東地方では7月初旬には梅雨が明ける計算となります。若いころは夏が来るのがうれしく思いましたが、最近では異常な暑さについていけず、ついついエアコンの効いたデスクワークを選んでしまいます。皆様も体調にはお気をつけて頂き夏への準備をお願いいたします。

さて、話は変わりますがオリンピックまであと63日となりました。新型コロナ変異種増加に伴い緊急事態宣言延長も視野に入れながら政府もてんやわんやだとは思いますがオリンピックはいったいどうなるのでしょうか? コロナワクチンも厚木市でも段々と進んで来ましたので少しでも良い方向に進んで行って頂きたいものです。

厚木県央クラブも会員相互の情報交換をしながら良い方向へと進めてまいりましょう。今日からZOOMを併用したハイブリッド例会が再開されました。会員のみんなに会いたいと言ってくれる会員も多くとても嬉しいお言葉です。しかしまだまだ油断は出来ませんので出席方法は会員の皆様にお任せして会の方では例会を進めてまいります。

本日は奉仕プロジェクト委員会担当例会です。「今年度及び今後の奉仕事業について」です。

皆様どうぞお楽しみに。本日もよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

■今日のお花



■例会「新たな社会奉仕事業の検討」と「地区補助金配分事業完了報告」

担当：奉仕プロジェクト委員会

■第1部「新たな社会奉仕事業の検討」

今年度の我が委員会の方針及び活動内容として、ロータリーの「五大奉仕」の一つである「社会に奉仕する活動」の探求を目指すし活動を計画する事を掲げた。しかし残念ながら新型コロナの災禍の状況下、例会すら取止めざるを得ない時期が続き、人的接触に制限がなされるなか委員会活動も残念ながら当初の活動を目指す事が困難な年度となってしまった。その様な時ではあるが、本日は委員である新川ノミニエを初め我が委員会の委員の方にロータリークラブの「社会に奉仕する活動」について今後我がクラブにどの様な、「社会に奉仕する活動」が期待されるかを語っていただく事とした。各卓話者よりは積極的なご意見を発信させられ要約して記させていただく。卓話記事の最後に発表者の代表として次々年度の会長予定者新川委員(ノミニエ)の新たな社会奉仕への思いの具体的内容を記事として配信させて頂く事とする。



卓話者 奉仕プロジェクト委員会 森 正章君

「自分はそろそろ仕事もセーブした生活設計を考える年齢となったことを実感している。この様な立場であり、また今までもロータリアンとしてはそれほど積極的に奉仕活動に携わってきたわけではなかった。私が最近の活動で感じた事で印象的なのは、新たな活動として国際奉仕に最初に取り組んだ当時の奉仕プロジェクト委員長、今は亡き高澤孝一会員が全く人脈の無い状態から始めたラオスへの支援活動である。その様な状況であった当時の立協会長、それを継いだ井会長、和田委員長、そして現在の会長、委員長それぞれが果たした熱意によって手探りで始めた国際奉仕活動がこれほど充実した活動となった事。この様にその時の会長や担当者の熱意が今後も新たな社会奉仕活動の充実の原動力になるのではないか。」



卓話者：奉仕プロジェクト委員会 関野耕正君

「厚木市建設業協会の会長という重責を担う立場として、現在協会がどの様な社会貢献活動を果たしているかを説明する事で一つの奉仕活動の実例として参考にしていただきたい。我々建設業協会は災害発生時には協会を中心として、会員業者間で防災連絡網を策定し厚木市と連携しながら、台風や地震、大雪といった災害時において待機態勢をとり災害時の迅速な出動や復旧に備えている。また東日本大震災を経験した東松島市建設業協会と防災協定を締結し更なる広域防災態勢を整えた。また人材育成の面から、「建設フェスタ」を開催し子供達に建設業への理解と親しみを感じてもらい業界への興味を持ってもらう活動も始め、中央公園において毎回8千人以上の方に来場いただき協会の活動への理解を深めてもらっている。また鮎祭りにも出店し、建設業2世会がクワガ

タムシを親子にプレゼントして子供たちに自然との親しみを持ってもらう活動にも精力を注いでいる。教育関連としては市内の小学校からの要請に応え出前講座という活動として、重機を持ち込み子供達の教育の一環として職業を知る体験講義としての活動を行っている。」



卓話者：奉仕プロジェクト委員会 関原敏文君

「自分はロータリークラブに入会するまで、奉仕などと言う事は考えた事もなかったが入会して少しずつ変化してきた様に感じる。自分が奉仕活動として話せる経験としては音楽を通して社会に貢献している活動である。和太鼓への興味とその普及に努力し青少年の育成に尽力してきた。最近その活動も含めて危惧しているのは子供達の変化である。活動を通して最近の子供達の行動に感じる事は、団体行動がとれない協調性のない子供が増えてきている事だ。社会の将来を考えるとやはり現在の子供達の変化が非常に心配である。」



卓話者：奉仕プロジェクト委員会 新川 勉君

「本日は私自身がロータリークラブに対して大変薄い知識ではありますが、少し上から目線でお話をさせていただきます。さてロータリー活動の基本はなんでしょうか？それは優秀な職業人であるロータリアンが毎週1回例会に出席してロータリー哲学である奉仕の心を学び、それを通して親睦を深め、それによってさらに、奉仕の心を深め、充実させていくところにあります。例会出席によって形成された奉仕の心はロータリアン個人がそれぞれの家庭、地域社会、国際社会で実践に移すこととなります。」

それではロータリー 5大奉仕とは何でしょうか？

- ①クラブ奉仕
- ②職業奉仕
- ③社会奉仕
- ④国際奉仕
- ⑤青少年奉仕

に以上になります。厚木県央ロータリークラブの定款では第6条では以下のように記載されています。

1923年、セントルイス国際大会で「善良で健全な市民を育てる」青少年奉仕活動が討議。当初は社会奉仕委員会の小委員会として発足。次時代、青少年育成の重要性から第五奉仕部門と呼ばれたこともある。青少年交換、奨学生、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム、職業相談指導、ロータリー地域共同隊、ロータリー地域社会共同隊、身体障害者の援助、各種野外活動などを通じて才能と熱意を呼び起こし、奉仕と責任感を育てることを目的とする。

それでは本日のテーマの社会奉仕とはどのように考えたらいいのでしょうか？クラブの所在地域内または行政区区域内に居住する人々の生活の質を高めるため会員が行う様々な取り組みからなるものです。1923年の声明、決議23-34と1992年の声明、決議92-286があります。決議23-34ではロータリー運動全般にわたって奉仕をめぐる個人奉仕か団体奉仕かの論争に終止符を打ち、同時にRIとクラブとロータリアンの機能を明確化し、ロータリアンがクラブが行うロータリーの諸活動に関する根源的な指針になるものであります。ロータリーの綱領がロータリアン自身に対する目標設定であるのに対してこの決議はロータリークラブを対象としています。その後この決議は改正されてトロント大会の決議66-49による改正ではロータリークラブが奉仕活動を選ぶ場合には、奉仕活動についての宣伝とか、または、何らかの見返りを望むものではなく、ただ奉仕をする機会を求めるべきではあるが、クラブが立派に遂行した有益な事業については正しい広報が行われるべきである。という趣旨の文章に変更されました。

○社会奉仕に関する1992年の声明

ロータリーの社会奉仕とは、ロータリアンひとりひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することである。この奉仕の理想の適用を実践する中で、各ロータリー・クラブはさまざまな社会奉仕活動を開発し、会員に奉仕の多大なる機会を与えてきた。ロータリアンの指針として、また、社会奉仕活動に対するロータリーの方針を明確に表すために、その原則は次のようにまとめられる。社会奉仕は、ロータリアンひとりひとりが「超私の奉仕」を実践する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリー・クラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある。この精神に立脚して、各クラブに対し次のように勧奨する。

- 1) 地域社会における奉仕の機会を定期的に調査し、各クラブ会員に地域のニーズを検討させること。
- 2) 社会奉仕プロジェクトを実施するに当たっては、会員の得意とする職業上の能力や職業以外の力を生かすこと。
- 3) どのようにささやかであっても、あらゆる社会奉仕活動が重要であると認識したうえで、地域のニーズを汲み、地域内のクラブの立場や可能性に見合ったプロジェクトを始めること。
- 4) 各種社会奉仕活動を秩序立てるために、ロータリー・クラブが提唱するインターアクト・クラブ、ローターアクト・クラブ、ロータリー地域社会共同隊、その他のグループと緊密に協力すること。
- 5) 国際レベルのロータリー・プログラムと活動を通じて社会奉仕プロジェクトを強化する機会を探し出すこと。
- 6) 社会奉仕プロジェクトの実行に当たっては、望ましく、また、実現可能な限り、必要とされる資金や人材の提供までも含めて、地域社会にも参加を求めること。
- 7) 社会奉仕の目標を達成するために、RIの方針に沿って他団体と協力すること。
- 8) 社会奉仕プロジェクトが一般社会の人々に十分認められるようにすること。
- 9) 社会奉仕活動において他団体の協同参加を促進する触媒としての役割を果たすこと。
- 10) 適切であれば、地元地域社会、奉仕団体、その他諸団体に、継続中のプロジェクトを委譲すること。そうすれば、ロータリー・クラブは新プロジェクトに携わることが可能となる。RIは、ロータリー・クラブの連合体として、社会奉仕のニーズや活動を伝え、広め、かつロータリーの綱領を推進し、参加を望むロータリアンやロータリー・クラブ、地区の力を結集すれば役立つと思われるプログラムやプロジェクトを適宜提案する責任がある（ロータリー章典 8.040.1.）（ロータリー章典 8.040.3.）

効果的な社会奉仕をする基礎として、ロータリー・クラブ会長は、必要に応じて、人間尊重、地域発展、環境保全、協同奉仕の各社会奉仕小委員会の委員を務めるロータリアンを任命するよう奨励されている。この小委員会は、次のことを行うよう要請されている。

1. 地元のそれぞれの地域の特定の相対的状況を総合的に調査、分析し、地域社会のニーズを確認する。
2. 地域社会のニーズを見出すために個人的、また職業上の立場を生かしてクラブの所在地域内を探り、社会奉仕委員会の調査、分析を補足、強化するよう個々のクラブ会員に勧める。
3. 他の地域団体との会合を、所定の方針に従って行うことができる場合、そのような会合を開き、話し合いと意見交換を行う。
4. 地域社会のニーズに積極的に関心を示し、これに精通していることを会員候補者選考の一要素に含める（ロータリー章典 8.040.3.）

それでは具体的な社会奉仕とはどのようなもののでしょうか？

社会奉仕プロジェクトは、薬物濫用防止、識字率の向上、高齢者への援助を始めとして、病院、学校、その他の地域施設の改善、改良、清掃及び再生利用キャンペーンにまで及びます。社会奉仕には、ロータリーの提唱する組織、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、ロータリー地域社会共同体などの共同奉仕者との協力も含まれます

【人間尊重】

- ①社会的弱者への支援、②保健、衛生、長寿で健康、③子育て支援、④社会治安の向上、⑤才能のある人の発掘・支援、⑥文化交流で心豊かな人の育成、⑦災害に備える

【地域発展】

①産業育成、②観光の街づくり、③街並み整備

【環境保全】

① 山、野の植樹・森林の育成、②河川の清掃・魚や蜚の棲む清流、③街路の清掃、④歩行者天国、
⑤クリーンエネルギー

以上のようなものがあります。我がクラブはラオス支援やネパール支援等国际奉仕、少年野球や小学生ソフトボールの支援の青少年奉仕はされています。和田エレクトや神崎パスト会長が行おうとした高齢者の運転講習や交通安全が我がクラブの行った社会奉仕だと思えますが残念ながらいずれも雨やコロナで中止になってしまいました。次々年度は厚木県央ロータリークラブの創立25周年の年になります。これから会員の皆様の職業の能力や職業以外の力を生かしまさしくこの県央地区での社会奉仕を実践してまいりたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

委員長として新川委員からお預かりした内容は、今一度会員が奉仕活動を理解するため貴重な卓話内容であり、またクラブの存在を意識するための非常によく纏まった資料と判断し全文を記載させていただきました。最後に私見として、日本の様な狭い地域にクラブが密集している様な国では、社会奉仕の活動の地域社会は拡大解釈してもよいのではないかと感じています。所在地に限らず支援が必要な社会への奉仕には、積極的に活動して行く事が必要なのではないでしょうか。特に現在の様な災禍の支援に憚る必要はないのではと思えます。

■第2部「地区補助金事業完了報告」



報告者：奉仕プロジェクト委員長 松本 豊君

今年度 クラブの歴史で初めて配分が決定された地区補助金配分事業「ラオス支援」について、久保田ガバナー、辻AGをお招きし先日の第1045回例会において会員の皆様に無事業の完了を報告する事が出来た。支援したフレンズ・ウイズアウト・ア・ボーダー・JAPAN赤尾さんからは、丁重な感謝の言葉もいただいた。その後ゴールデンウィークの連休をはさみ、5月11日補助金の精算処理と完了報告書の作成及びプロジェクトリーダー高畑会長による完了報告書への署名を以って資料の作成も終了する事となった。作業終了後の夕

方地区財団補助金管理委員会に完了報告書をメール送信し、無事5月15日の完了報告締切り期限内に事業の完了を地区に報告する事ができた。その後資料の取り纏め作業を開始し、完了報告書に添付する予算書、資金移動証明書類、領収書原本、口座閉鎖証明、写真等の記録データ、打合せ時の全ての送受信メール等の資料一式を今週19日に地区へ送付、20日付けで受領確認の返信メールを受取った。現在も続く新型コロナの災禍の下での海外においての支援事業であり、奉仕プロジェクト委員会として今年度最大のミッションの完了報告を、無事本日会員に報告する事ができ委員長として、まずは委員並びに協力会員に御礼申し上げる次第である。思えば1年を超えるプロジェクトとなってしまったが、この様な滅多に出来ない経験の重責をお任せいただいた高畑会長、補助金申請者の井直前会長の思いに少しでも応える事が出来たのであれば幸いである。

資料の量が膨大なので、本日は完了報告書のみをメールにて事前に能勢幹事より会員に送付していただいた。6月の第2週の例会において4月9日ZOOMを利用して現地と結び、臼井委員長を中心に赤尾さんの協力も得て農業指導を行った委員会の模様をご覧いただく事となり、その際に地区に提出した資料の一式も会員にご覧いただく事とする。この資料は紙ベースと電子データで10年間の保存義務を求められており、財団の縛りは予想以上に厳しいと感じる。そしてプロジェクトの資料に関してもこれまで我がクラブは補助金配分事業の経験が無く、今後地区財団管理委員会から資料に関しての問合せや、クレーム等のアクションがあるかは何とも申し上げようもないことを添えさせていただく。またプロジェクト費用も節約を心掛け人件費や機材、資材を調達し残余金が発生する決算に落ち着いた。そこで少額ではあったが国がロックダウンし、日本以上に影響を受けている現地への医療器具の支援に使う事ができないか、辻AGに相談のうえ動いたのだが、地区の補助金管理委員会の「残余金はすべて返金しなければまかりならん。」との杓子定規の返答に、ロータリーの本質を分かっているのか疑問を感じる少々残念な結末ではあった。

個別プロジェクト完了・完了前報告書

クラブ名:	厚木県中央ロータリークラブ		
プロジェクト名:	ラオ・フレンズ小児病院		
実施(予定)年月日	2021年	4月	9日 まで活動 実施 予定
実施(予定)場所	ラオス		実施 予定
完了報告書 完了前報告書 (選択してください)			
※完了前報告書の場合、完了報告書提出予定日 年 月 日			

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトを誰が、何を、いつ、どこで、どのように実施したかを簡潔に説明してください。

これが完了前報告書である場合には、今後実行すべき活動内容も説明してください。

COVID-19 の災禍により、現地訪問による活動が不可能となってしまったため、ラオ・フレンズ小児病院を運営する NPO 法人「フレンズ・ウイズアウト・ア・ボーダー・JAPAN」を通じ支援活動を実行した。日本にてクラブ会員の農場で耕運機の利用方法、畑の耕作方法、有機肥料の活用方法を会員が実践指導、その動画や写真と指導項目を個条書きした資料を作成しラオスに送り、リモートにて現地の病院スタッフに指導を行った。耕運機などの機械の調達と同 NPO 法人が常時依頼している現地通訳のブイ氏に動いてもらい、こちらの要望について現地の情報をメールにて NPO 法人代表の赤尾氏から逐次報告をもらい調達する事が出来た。また現地は日本と違い乾季において散水作業が困難な状況であるとの事から、水道工事を職業とするクラブ会員の指導による散水システムも設置できた事は大きな成果であったと考える。時間軸は年度当初から 4 月 9 日まで現地との頻繁なやりとりをしており 10 ヶ月の期間に渡っている。	数百名
2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数はどのぐらいですか。	数百名

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか。

プロジェクトはどのような人道的ニーズに応えましたか。

1, ラオ・フレンズ小児病院に来院する患者 2, ラオ・フレンズ小児病院スタッフ 3, ラオ・フレンズ小児病院自体 今回の支援によりラオ・フレンズ小児病院のスタッフが、人力にて自ら耕作している畑の機械化が大きく進んだ事により、その時間を本来業務に振り向ける事ができた。また機械化により畑の耕作面積が大幅に拡大されたため、収穫量が増加し病院経費の支援にもつながった。これらの事はすなわち病院を頼る患者の支援に繋がったと自負できる活動であった。	20名
4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。	20名

5. これらのロータリアンは何を行いましたか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも 2 つ挙げてください。

1, 日本の農場において耕運機の利用及び使用方法、畑の耕作方法、有機肥料の活用方法などを実践しながらリモート指導で理解しやすい様に会員が分かり易く指導した。機械の取扱いについて危険な利用法、メンテナンス、耐用年数なども指導した。 2, 日本在住のラオス人から情報を収集し、どの様な作物が現地で入手しやすく栄養価の高い作物が入手できるかを調べ現地に情報を送った。 3, 散水システム設置の為、現地で調達できる資材の情報を得たうえで、散水システムの設計図を作成し現地の病院スタッフに指導した。この散水システムの工事は我がクラブの遠隔指導の下、外注せずスタッフ自らの力で設置したため、資材費と病院のスタッフ人件費のみで設置する事ができた。物価の違いはあるが、日本で同じシステムを外注すると 100 万円以上かかるのではないかと考えられる。 4, 現地訪問が不可能なため綿密な計画を立て 10 ヶ月に渡って様々なやりとりや情報収集に奔走した。	
--	--

■ハイブリッド例会



■ソングリーダー



佐藤新也 SAA

■出席報告



岡見 健君

■スマイル発表



森 志朗君

■会員アピール



川名貴之君

■出席報告 <会員 38 名、出席対象 38 名>

5月7日例会	確定出席率 73.68%	5月21日例会	出席 31 名 欠席 8 名 出席率 81.58%
		事前メイク： 和田貴樹君(5月7日／理事会)	